

# Marco Gallery

Solo Exhibition

## “Sense of Wonder -幽玄-”

高橋穰

2025.05.31(Sat)-06.29(Sun)

Marco Gallery 1・3・4F



Title calligraphy : Hinako Nakamura

Canvas artwork : jiji

この度 Marco Gallery では高橋穰による個展 “Sense of Wonder -幽玄-”を開催いたします。

ぜひご高覧ください。



# Marco Gallery

## 【ステートメント】

初個展 「Sense of Wonder-幽玄-」 によせて

本展のタイトル「Sense of Wonder」は、海洋生物学者レイチェル・カーソンが1965年に遺した著書に由来する。カーソンは、自然界に潜む神秘や秩序にふれたときに湧き上がる、畏怖と驚きの感覚をこの言葉で表した。それは、知識に先立ち、世界の奥に触れようとする人間の根源的な感受性であり、生涯を通じて持ち続けるべきまなざしであると彼女は説いた。

私は彫刻家として、重力、遠心力、植物の成長、漂着物の軌跡といった、目に見えない自然のふるまいに関心を寄せてきた。それらは一見無音で無名な現象に見えるが、確かに存在し、絶え間なく物質に影響を与え、痕跡を残していく。私はそうした歪みとして現れる「なにか」に耳を澄ませ、素材や空間を媒介に、かたちの奥にある動きや気配を掬い上げようとしている。

アイザック・ニュートンが木から落ちるりんごを見て万有引力の法則に至った逸話は、自然の現象が人間の思考を突き動かす瞬間を象徴している。私が関心を寄せるのは、重力という言葉そのものよりも、それを「発見」と捉える感受性のあり方にある。世界の輪郭は、気づくことによって立ち上がる。

重力に抗いながら空を目指す植物の新芽。その運動は、重力を感知するアミロプラストという色素体によって導かれる。まるで人間の三半規管のように、空間の方向性を知覚し、音もなく、重力に抗う意志を示す。こうした微細な運動のなかに、私は彫刻的なエネルギーの存在を感じ取っている。

また、海岸に流れ着いた漂着物を用いた作品群では、風や波、時間といった自然の見えざる要素が、物体に刻んだ記憶の層を拾い上げて再構成している。偶然と必然のあいだで彫刻は生成し、物語を語り出す。

本展におけるもうひとつの主題「幽玄」は、東洋に根ざす「見えないものの気配を感じ取る感性」である。彫刻が視覚だけに依らず、空間の緊張や物質の沈黙、配置の呼吸といったものを通じて働きかけるとき、そこには幽玄の感覚が宿る。

私は自然の「美しさ」を示したいのではなく、私たちのうちに眠る「感知する力」を呼び覚ましたい。自然の側から語りかける声に耳を澄ませるように、見ること、聴くこと、気づくことが交差する場を立ち上げること。それが本展における彫刻の試みである。

高橋穰



# Marco Gallery

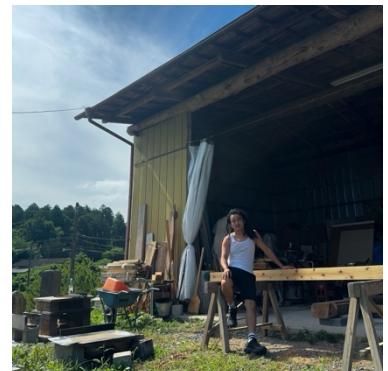
【アーティスト】

高橋穰 / @joesculpture

・作家来歴（出生年、学歴、活動拠点）

1999年東京生まれ東京芸術大学 大学院美術研究科彫刻領域在籍中

2023年から、東京と茨城県笠間市の2拠点で制作を行っている。



・作家ステートメント

私たちは日々、不可思議な力に翻弄されながら生きている。その力には、科学では説明できないような「なにか」が潜んでいるのではないかと感じる。私は、物体と万有引力の関係に着目し、彫刻を通して介入することで未開の力を探求している。その可能性は、形は捉えきれないが、確かな歪みとして現れる「なにか」だと考えている。

地球は最大の彫刻であり、絶え間ない変化を続ける巨大な粘土のように感じている。私は彫刻を通してその一部と接点を作り、地球（重力）を前提に定義してきた彫刻の存在論を宇宙的な視点に広げることを目指している。



# Marco Gallery

・主な展覧会歴（個展、グループ展、アートフェア、受賞歴、その他）

## ■グループ展

2025 「PARTY vol.1／DAIMARU TOKYO ART GALLERY OPENING SHOW」 大丸東京店 GALLERY1.2 | 東京  
「150年」 都内某所 | 東京

2024 「SHIBUYA STYLE VOL.18」 西武渋谷店・美術画廊 オルタナティブスペース  
「一番美味しく食べるには？」 Marco Gallery | 大阪  
「Neither」 Marco Gallery | 大阪  
「Saturday night once more」 curated by Marco Gallery Wall\_alternative | 東京  
「WHAT CAFE—DELTA “TOPOLOGY”」 exhibited by Marco Gallery WHAT CAFE | 東京

2023 「あそこと私との間にある距離、あれと私との間にある大気、あなたと私との間にある雰囲気」  
Token Art Center | 東京  
「公園-記憶の合流地点」 Marco Gallery | 大阪  
「NACC Vol.5」 日本橋アーネー文化センター | 東京  
「東京藝術大学卒業・終了制作展」 東京藝術大学 | 東京

2022 「KENMA studio last exhibition」 KENMA studio | 東京

2021 「東京屋上区 - 高橋穰・森山瞬 -」 四谷TTビル | 東京  
「One for ball,Ball for one.」 KENMA studio | 東京  
「水の波紋 2021 関連企画 SIDE CORE pop up “地球, 神宮前,BONOBO”」 BONOBO | 東京

## ■アートフェア

2024 「MEET YOUR ART FESTIVAL 2024 『NEW ERA』 天王洲運河エリアー帯 | 東京  
「Five Galleries Art Fair in Spiral 2024」 exhibited by Marco Gallery スパイラルガーデン | 東京

## ■芸術祭

2024 「Atami Art Grant 2024 『超 -Beyond ATAMI-』」 熱海市

## ■展示企画

2022 「KENMA studio last exhibition」 KENMA studio | 東京  
「どこでどう使う？/重富彩花・時松春佳」 KENMA studio | 東京  
「Punch the public/金城ちはる・佐塚毬」 KENMA studio | 東京  
「Have you ever wanted to eat yourself?- 自分を食べてみたいと思ったことはある？/中西凜」 cafe ふろん  
ていあ | 東京



# Marco Gallery

2021 「なに それ まじ -Neo Somatic Method- / 中山琳太郎・wakapitch」 KENMA studio | 東京  
「東京屋上区/ 高橋穰・森山瞬」 四谷 TT ビル | 東京  
「台風の眼/ 江間和・平間ミーナ・向井このか」 KENMA studio | 東京  
「One for ball,Ball for one.」 KENMA studio | 東京



# Marco Gallery

Solo Exhibition “Sense of Wonder -幽玄-”



出展作家：高橋穰

開催日程：2025年5月31日（土）～6月29日（日）

営業時間：13:00-18:00 \*6月5-9日は20:00まで

定休日：月,火曜日 \*水曜はアポイント制

会場：Marco Gallery 1・3・4F

お問合せ：info@marcoart.gallery

大阪府大阪市中央区南船場 4-12-25 竹本ビル 1F,3F,4F

Takemoto BIDG 1F,3F,4F 4-12-25 Minamisenba Chuo-ku, Osaka City, Osaka, Japan

Tel: +81 06-4708-7915 E-mail: [info@marcoart.gallery](mailto:info@marcoart.gallery)

